# 【研究資料】

# 黎明期のバスケットボールの実状をめぐる補足的研究

### 水谷 豊

Complementary study on actual situation at the dawn of basketball

#### Yutaka Mizutani

#### Abstract

It is a well-known fact that the game of basketball was created by James Naismith who was then an instructor of Physical department of the International YMCA Training School in Springfield, MA in the US and that the game is described as Naismith's 'brainchild' because it was really his own creation as imaginative solution to the problem that no 'real' winter sport to be played in gymnasium existed. Moreover the first game was played on December 21, 1891.

As a matter of fact, a number of studies on history of basketball have been done. But it can be inferred that the study on basketball in the early days still has room for further information. Based on this point of view, the purpose of this study is to bring the acutual situation at the dawn into light through unknown materials as many as possible.

As a result, the reason why errors in writing or the misrepresentations are still found is considered that basketball is not originated by abiogenesis but by artificial means, and many trial and error was repeated in the process of its evolution.

The followings are considered as conclusion of this study.

- 1) The regulation of season system of sport is thoroughly abided in the US. The birth of basketball resulted from this regulation.
- 2) YMCAs in the US changed their philosophy of physical exercises by the leadership of L.H.Gulick and the mainstream of physical exercises was transformed from gymnastics which were derived from European exercise-system to American sports. With this tendency, the lack of 'real' indoor sports became a cause of the birth of basketball.
- 3) Besides, it was a perfect device that Naismith created a different team sport from baseball, soccer and football which were quite popular as outdoor sport at that time. Especially his insight or clear and deep perception which he compared football with the expected game in the process on his creation triggered the starting point which basketball would eventually grew into a most popular sport of established reputation.

Key words: history, creation, re-examination

キーワード:歴史, 創成, 再検証

## 緒言

やや旧聞に属するが、国際バスケットボール連盟 (FIBA) が2016年の12月21日に「バスケットボール 生誕 125 周 年」 について、次のような連盟報 (FIBANEWS) をリリースした.

「最初のゲームは125年前のきょう行なわれた. アメ リカ・マサチューセッツ州スプリングフィールドの国 際 YMCA トレーニングスクール (現スプリング フィールドカレッジ) の教員だった J. ネイスミス (James Naismith) が1891年に創案した. この日, 18 人の学生が9対9に分かれて、サッカーボールを相手 の (桃の収穫時に使う) 籠にシュートし合うゲームを 初めて行なった. 昨年(2015年のことだが), かつて ネイスミスがラジオ局からうけたインタビューの音声 資料注1)が発見された. それによると,『ルールを十分 に練り上げていなかったために、思いもよらない事態 になった. 酷いラフプレーの応酬となり、ゲームが終 わったら殺し合いを始めるのではないかと、本気で心 配したほどだ、ところが、驚いたことに、学生たちは "またゲームをやらせてほしい"と言って来たのだ. そこで、違反行為のルールをもっと厳格にすることに した』と語っている。ルールが不十分だったことにつ いて、『大きな失敗だった、倒す、蹴る、殴る、組み 付くなど、ラフプレイのやりたい放題になり、ゲーム は乱闘と化してしまった. どうにか停めたときには, ひとりがノックアウトされ、そのほか数人が目の周り にあざをつくり、肩を脱臼した者もいた』と述べてい る. また、ネイスミスが『まさに、殺気立っていた』 と言うと、(この言葉をにわかに信じられないラジオ 局のスタッフが思わず笑ってしまった声も録音されて いるが) ネイスミスは真顔な口調だ. 『乱闘にならな いように【ボール保持者はその位置から他の位置に移 動できない】というルールを盛り込んだ. これによっ て、アメリカンフットボール(以下、フットボールと 表わす) 注2) のようにボール保持者が走るのを止める タックルや手を用いた突き倒しは無意味となり、怪我 が減っていった. そして、みっちり練習して身につけ た技能を駆使して、シュートを入れ合う素晴らしいス ポーツになった』とも語っている. このように、思い もよらない、しかし、印象深い第一歩を踏み出したバ スケットボールは125年を経た今日、世界中でプレー され, 観戦されている」1).

さて、この一文には確かめるべき記述がある。【ボール保持者はその位置から他の位置に移動できない】という制約はゲーム前にネイスミスが学生たちに説明し

た13条ルールの中にすでに含まれていた(第3条)<sup>注3)</sup>. ところが、フットボールに馴染み深い18人の学生にとっては全く想定外のルールだった。いざゲームが始まると、(ボールを保持したままでは他の位置に移動できない)ボール保持者は身動きができないので、力ずくでボールを奪い返そうとする相手とそれを防ぐ味方とが殺到して肉弾戦になってしまった<sup>注4)</sup>. つまり、最初のゲームが終わった後に、あらたにつけ加えたルールではなかった。しかし、誰もが初めて経験するゲームだから、ひとたび始まるや否や、一瞬にしてどの学生もフットボール本能に目覚めてしまい、ネイスミスも手の施しようが無かったのが真相である.

また、カナダ YMCA 同盟が「バスケットボール生誕100周年」を記念して同盟報で特集を組んだ.以下、FIBA の連盟報と重複しない内容を抜粋して示す.

「…ネイスミスは『ゴールが垂直面ではなく水平面 ならば、ボールが弧を描くような放物線になる柔らか いスローイングでないと、シュートは成功しない、そ うだとすれば、ラフプレーにつながる"ちから任せ" は無用になるはずだ』と考えた. ここから, 上面に蓋 がない木箱を水平面のゴールにしてフロアの両端に置 くことを思いついた. だが、相手が箱の周辺にかた まってディフェンスすれば、シュート成功はあり得な い、そこで、誰の手も届かない高さの体育館の2階の ギャラリーの足下に据え付けた… (中略) ネイスミス は1896年まで国際 YMCA トレーニングスクールでバ スケットボールに関わり、その後、コロラド州デン バー YMCA に移った。同時に、現コロラド大学医学 部に通い, 医学博士号を取得した. そして, スポーツ コーチおよびキャンパスの650席を備えたチャペルで 毎朝行なわれる学生向けのチャペルタイムのディレク ターとしてカンサス州のカンサス大学に転勤した注5). キャンパスではバスケットボールの創案者、医師、牧 師, 禁酒主義者, オールラウンドアスリート, ノース モーカー、陰口を叩かない人…というイメージで通っ ていた. 1936年に初めてオリンピック種目になったべ ルリン大会に夫人とともに赴いた |2).

この一文にも再確認すべきことがある。実際には夫人はベルリンに同行していない。ネイスミスの独り旅となってしまった<sup>注6)</sup>.

さらに、ネイスミスが1939年に他界したとき、 ニューヨーク・タイムズが次のような記事を書いた. 以下、その一部を示す.

「J.A. ネイスミス博士, カンサスで死去…スポーツ の経験が豊富な博士がバスケットボールをプレーした のは生前わずか 2 ゲームだった. 後年, そのわけを訊

かれて、『ちょっと余裕が無かったからだ』と答えているが、本当のところは『審判に反則を吹かれ過ぎたからだ』らしい.『たぶん、1891年までにレスリングやボクシング、それにフットボールをやり過ぎたせいか、反射的に相手の身体をホールドしてしまうのだ.自分よりも大きな体格の相手に対してはなおさらで、ついうっかりレスリングの腕や足を絡めるホールドをやってしまった』と、本音を洩らしたという」<sup>3)</sup>.このネイスミスの述懐は興味深い.自身のフットボール経験<sup>注で)</sup>で身体に沁み込んだ当たりの強いプレー本能をバスケットボールではまったく活かすことができないのだから、(創案者といえども)ネイスミスも例外ではなく、ほとほとお手上げの状態だったのではないか.

また、ネイスミスの名前を「J.A.Naismith」と記しているが、これは明らかに誤記である。カンサス州の墓地の墓石にはミドルネームの 'A' は刻まれていない $^{\pm 8}$ )

このように、FIBA の連盟報やカナダ YMCA の同盟報にはいささか誤った記述があるものの、総体的にはバスケットボールの黎明期における事実が描写されている。ニューヨーク・タイムズの記事にも誤記はある。と同時に、ネイスミス自身の回顧は創意工夫の結果として'かたち'になったバスケットボールの"本性"を彷彿させる。つまり、127年を経ようとしているバスケットボールの歴史には依然として探究に値することが少なくないことを示唆している。

そこで、本研究ではとくに黎明期のバスケットボールに着目し、「誕生前(~1891年)」「誕生(1891年)」「誕生(1891年)」「誕生後(1891年~)」の視座から追究を試みる。そして、その結果に若干の考察を加味し、これまでに明らかにされている当時の実状と部分的には重複しつつも、今後のバスケットボール史の研究に資する補足としてまとめることを目的とする。

# バスケットボールの誕生に至るまでの背景 (~1891年)

そもそも、なぜバスケットボールが YMCA(キリスト教青年会: Young Men's Christian Association)に由来するのか。1885年に開校したときの校名はキリスト教奉仕者学校(School for Christian Workers)であった。その趣旨は「YMCAの管理・運営、体操<sup>注9)</sup>の指導など、全般的な業務をこなせるスタッフ(一般主事)を2年課程で養成することを目的とするアメリカ国内唯一の学校」<sup>4)</sup>で、設置学科は一般事業担当主事養成科のみであった。ところが、全米各地の

YMCA と(体操中心の)体育プログラム(講座)  $^{\text{in}0}$  の増加に伴い,体育活動の管理・指導を担う専門スタッフ(体育主事)の必要性が高まった.そこで,2年後の1887年にその本格的な養成を行なうために,新たに体育部担当主事養成科(Physical department)が設けられた.つまり,YMCA は当初から「体育」を重視していたことになる  $^{\text{in}10}$ . 1890年に YMCA トレーニングスクール(YMCA Training School)と改称,さらに,1891年2月19日に国際 YMCA トレーニングスクール(International YMCA Training School)と再改称された  $^{50}$ . したがって,ネイスミスがバスケットボールを創始した年月日と校名は符合する.

体育部担当主事養成科が新設されたとき、科長に就いたのが L.H. ギューリック(Luther. H. Gulick)であった。宣教師の両親のもとに生まれたクリスチャンであり、医学博士号を取得し、体育・スポーツも大学で学んでいた。このギューリックの思想はキリスト教精神がバックボーンとなっており、身体・知性・精神からなる正三角形の YMCA のシンボルマーク('トライアングル')を提案するとともに、YMCA の体育理念を提唱、主導した論206)。このような経緯のもと、ネイスミスが1890年9月に同校の体育部担当主事養成科に入学して来た。すでに、カナダで大学を卒業していたので、実際には「1年制コース」に入った。翌1891年6月に卒業し、同校の体育部担当主事養成科の教員に採用された論1307)。

## Ⅱ. バスケットボールの誕生(1891年)

繰り返すが、FIBA も連盟報で記しているように "その日"は12月21日であった. 1891年度の国際 YMCA トレーニングスクールの学事暦によれば、秋 学期は[9月2日水曜日午後~12月18日金曜日夕刻]. 冬学期は [1892年1月4日月曜日朝~1892年3月25日 金曜日夕刻] であった<sup>8)</sup>. したがって、12月21日は月 曜日になるが、冬休み (クリスマス休暇) 中で授業は 無かった日のことになる. ただ. 履習要項には「予告 なしで変更する」と注意が記されているので、ネイス ミスの授業はクリスマス直前まで続いていたのかもし れない. また、ネイスミスは「クリスマス休暇で何人 もの学生が帰省して、地元の YMCA で (ルールが印 刷されたものは無く、覚えている限りのルールで) ゲームをやった」<sup>9)</sup>と述べている. さらに,「このゲー ムが 'Basket Ball' という表題でスクール報の 'TRIANGLE' に紹介されたのが1892年1月15日付号 だった」100 と述べているので、時系列的な矛盾はない.

次に、「最初のゲームが行なわれた日」だが、 先に 述べたニューヨーク・タイムズは「1891年12月21日、 1892年1月15日, 1892年1月20日の三説が有力」と記 している. 〈1892年1月15日〉はおそらくスクール報 の 'TRIANGLE' の発刊目ではないかと推測される. 〈1892年1月20日〉は『ニューヨーク州オールバニ YMCA 体育館で行われた 9 人制の初の公式戦で、ス コアは1-0であった』と記されている注4が、具体的 な説明がなく、信憑性は低い、ところで、ネイスミス には二男三女の子どもがいた. その二番目で次女のへ レン・キャロライン (Helen Carolynn) は1897年12 月21日に生まれた.「父親ネイスミスは6回目のバス ケットボールの誕生日に娘が生まれたと喜び、その後、 ヘレンの誕生日が来るたびにバスケットボールの誕生 のことを話題にした」(注15)11)という.以上のことから. 〈12月21日〉がもっとも確かであると考えられる.

そして、誕生から2カ月半ほど経った1892年3月11日の午後、国際YMCAトレーニングスクールの体育館で教員対学生の公開ゲームが行なわれた。次のように報じられている。教員チームが学生たち以上にラフプレーで対応していたことが推察できる。

「教員チームは驚きの敏捷性と当たりの強さに物を言わせて健闘したが、学生たちにははるかに及ばなかった、学生チームは頭を使った巧みなプレーで対抗して5対1で勝った、際立ったのは教員チームの(フットボールでは許される)'腕で相手の身体を押すパワープレー'であった。しかし、いわば出来立てほやほやのバスケットボールを実際に見るのはほぼ初めての200人を超す人たちには大変興味深く、じっと見入っていた」<sup>[注16] 12]</sup>.

さらに、次のような言説は YMCA がバスケット ボールという新しい屋内スポーツを創出したことに対 する意義を総括していると考えられる.

「ネイスミスが創始したバスケットボールは冬季の体育館における学生たちの授業内容を体操中心からスポーツ中心に一変させた. これが発端となり, バスケットボールは何千人という多くの観衆を集める魅力あるスポーツのひとつとなった. 渇望していた新しい屋内スポーツが生み出され, まさに願いがかなった. それどころか, 奇跡が起こったも同然と言っても過言ではない」<sup>13</sup>.

## Ⅲ. バスケットボールの誕生後(1891年~)

ところで、バスケットボールが"YMCA スポーツ" としてデビューしてからおよそ1年後、国際 YMCA トレーニングスクールのスクール報には、次のようなことが記されている。

「これからの YMCA における屋内の体育講座は大 きく変わっていく予感がする. 長く続いた体操系の体 育講座がどのように改変されても、それ一辺倒だった 日々に立ち戻ることはあり得ない. つまり、バスケッ トボールがまさに画期的だからだ. 今まで身体を曲げ たり、伸ばしたり、捻る柔軟性を増す効果がある体操 系の運動をやってきた人がもっと満足する "運動効果 の高いゲーム"だからだ。正常な人なら心臓や肺臓と いう重要な臓器の機能を向上させる効果を期待できる. 筋肉を動かしているのと同時に心臓も肺臓も活発には たらく. 今までのようにダンベル (亜鈴) を用いたト レーニングで筋肉を鍛えていたのとは全く違う筋肉の 動かし方なのだ。それに、日中、(身体を動かすこと が少ない) 仕事に携わる人なら、勤務が終わってから YMCA の体育館でいつも通りの体操系の運動を行な うよりもバスケットボールのゲームでひと汗かいたほ うがはるかに壮快だ. 第一. (ダンベルを使う運動の ように) "これを何回,何分" と自分を追い込まなく てもよいし、使っているダンベルのような手具の取り 扱いに注意をはらうことも要らないし、運動の内容や 順序を覚えておく必要もない」14).

また,誕生からほぼ4年目の頃に国際YMCAトレーニングスクールで、次のような言説が公表された.「バスケットボールは急速に人気が高まっている.健康増進の効果が大きく、気晴らし・娯楽としても好適であるという特性もよく知られている。敏捷性、持久力、筋制御、勇気、判断力が育まれる。ルールブックは北米YMCA国際委員会が毎年刊行している」<sup>15</sup>.

そして、次のような表が示されている (注17) 16). 当時の20の屋内ゲームに対して、筋力・持久力・敏捷性・筋制御・判断力・自制心からみた運動効果度を示している。この数字からバスケットボールは単にゲーム形式の目新しさのみにとどまらず、スポーツ生理学やスポーツ心理学などの面からも、人間の身心両面に対して好影響をもたらす屋内ゲームであると評価されていることが推察できる.

しかし、だからとて、その評価が直ちに受け入れられたわけではなく、むしろ、誕生後の歩みは必ずしも順風満帆ではなかった。次の記述はその一例である.

「バスケットボールは'年寄りがやるゲーム'(an old man's game)として案出されたという評言もある.確かに、中・高年層にはフットボールや体操系の運動よりも興味をそそる点があった。たとえば、競技ルールで身体の衝突(フィジカルコンタクト)を徹底的に

黎明期のバスケットボールの実状をめぐる補足的研究

ゲーム	筋力	持久力	敏捷性	筋制御	判断力	自制心	合計
Ball Stand	5	7	9	9	6	3	39
Basket Ball	7	10	10	8	9	10	54
Circle Ball	4	3	10	5	5	1	28
Club Passing	3	5	9	6	4	2	29
Hand Ball	8	9	10	10	10	1	48
Hand Ball Game	8	8	9	9	8	2	44
Hand Polo	8	9	9	8	10	8	52
Hand Wrestle	10	10	9	10	9	4	52
Hang Tag	7	7	9	7	6	3	39
Indoor Baseball	5	5	10	8	5	7	40
Lang Ball	9	5	7	8	10	4	43
Leap Frog Race	7	5	5	5	4	3	29
Leg Wrestle	10	10	2	2	2	1	27
Ling Ball	5	3	5	5	4	5	27
Medicine Ball Passing	10	9	10	8	9	2	48
Rooster Fight	10	10	9	10	8	2	49
Shot Bag Jumping	5	10	8	5	5	1	34
Square Ball	5	5	8	6	5	3	32
Three Deep	5	7	10	9	9	3	43
Tumble Club	10	10	9	10	10	4	53

排除するように定めていたからである。ところが、 (実際にプレーしてみると、意外にも)呼吸・循環器系の運動負荷が大き過ぎて息が続かず、敬遠されるようになった。だから、大勢としては青年向けのゲームと見なされていった |100.

また, 意外なことに, このように批評されたことも あった.

「今日こそスポーツ界で君臨しているバスケットボールだが、初めは極めて厳しい状況もあった。1892年にネイスミスが全米各地に紹介したとき、大して関心を呼ばず、もっぱら YMCA の中で行なわれていた。それは、身体接触を厳しく禁ずるルールが定められており、フットボールに慣れ親しんだ当時の血気盛んな青年たちは、これになかなか馴染めなかったからだ。そして、バスケットボールを"めめしくて男らしくないゲーム"(a sissy game)として、一線を画していた。そして、バスケットボールをプレーする者を"淑やかな女性が行うようなスポーツ"(a ladylike sport)をやっているとして、仲間から遠ざけることもあったという。体育館の外で待ち構えていて、バスケットボールをプレーしていた者たちに『お前たちは眼にあざが

できたり、鼻血が出たりする(ほどのフットボールのような) 男らしいゲームはできっこないよな!』と、 罵声を浴びせ、嘲ることがあった」<sup>18)</sup>.

さらに、誕生から80年余を経て、次のようなことが 指摘されている。

「バスケットボールはプレーするのも、見るのも楽しい新しいゲームであった。そして、20世紀へと時代が移っていくなかで、全米の多くの YMCA と大学が 'コアスポーツ' と位置づけた。しかし、そこに至るまでに(体操ならば一度に多くの者が参加できるのに、少ない人数で体育館のフロアを独占してしまう)バスケットボールを率直に迎え入れるには抵抗感をもつ YMCA もあった。クリスチャンとして眉をひそめるような暴力の応酬が絶えないゲームと、それに熱狂し、酔いしれる下品な観衆に辟易していたからだ。つまるところ、体育館の体育講座からバスケットボールを排除する YMCA が続き、数百人の愛好者が締め出されてしまった」19.

### 結 語

このように黎明期に遡ってバスケットボールをめぐる実状を追究してみると、まだまだ明らかにされていないことが埋もれていると推考できる。もちろん、本研究でもなお課題を残したことは否めない。しかし、得られた当時の実状の補足的内容から次のようなことが考えられる。

- 1) アメリカで確立しているスポーツのシーズン制 (気象・季節と種目の区分) が結果的にバスケットボール誕生の重要な起因となった.
- 2) アメリカの YMCA が L.H. ギューリックの主導で身体運動の理念を変え、さらに、ヨーロッパに源流をもつ体操を中心とする身体運動からアメリカンスポーツを志向する流れへと変化する中で、本格的な屋内スポーツが欠如していたこともバスケットボール誕生の誘因となった.
- 3) しかも、ネイスミスが結果的に野球、サッカー、フットボールなどを比較分析し、なかでもとくにフットボールという当時の花形スポーツを対極に置いて意匠惨憺した結果がバスケットボールであった。このことが、やがてバスケットボールがその後の押しも押されもせぬ近代スポーツに成長する起点となった。

#### 謝辞

#### ACKNOWLEDGMENTS

I greatly appreciate the generous help of the Springfield College Library Services for my research, in particular, of Ms. Andrea Taupier, Director, and Mr. Jeffrey L. Monseau, Archivist as well.

# 〈注〉

- 注1) ネイスミスが1939年の初めにニューヨーク市を訪れたさい、地元ラジオ局(WOR AM)が(2分30秒ほどの)短いインタビューを行なった。それが、1月31日にオンエアされた(ニューヨーク・タイムズ「ネイスミス、バスケットボールの誕生について語る」、2015年12月15日付)、FIBA はこのことを指していると考えられる。因みに、ネイスミスはそれから10カ月後の11月29日に他界している。
- 注2) 本小論で記している「フットボール」はすべてアメリカで行なわれているフットボールを指す. 一般にアメリカンフットボールと呼称しても,アメリカでは単にフットボールと呼ぶ(田中徳久ら(1990)日本史小

百科 スポーツ, 近藤出版社, p. 50).

- 注3) ルールは全部で13条のみだった. 第3条は「…ボールを保持して走ることはできない. また, ボールをキャッチした地点からパスをしなければならない…」というボール保持者がフットボールのように走って随意に位置を変えるのを禁ずる罰則だった(J. ネイスミス: 水谷豊訳(1980)バスケットボール その起源と発展,日本 YMCA 同盟出版部,pp. 73-74).
- 注 4 ) 体育館で "今までまったく経験のないゲーム"を行なう前までは、学生たちはグラウンドで秋種目のフットボールをやっていた。もちろん、対外試合の同校代表チームも結成されており、1891年の近隣校との8試合の総得失点数は148-74で5勝3敗と報告されている。しかし、校内には「クリスチャンの YMCA スタッフを養成する学校が、見るに堪えないような乱暴なゲームをやめさせることはできないのか!」、「結構なことだ、学生がそのような男らしいスポーツで自分を鍛えて、やがて、青年たちを導くリーダーや仲間になることは好ましい!」という賛否両論があったことも確かだった(International YMCA Training School (1891) Foot Ball At The Association Training School, THE TRIANGLE, (1):1, p. 6).
- 注5) ネイスミスの任用人事案は1898年6月7日午後1時 30分からの理事会で承認された(University of Kansas Board Meeting Minutes, June 7, 1898).
- 注6) 1936年3月15日~21日, デンバーでオリンピック代表チーム決定戦が行なわれたとき, 夫人のモード (Maude) とともにデンバーに出かけた. 途中で夫人が心臓発作で体調を崩した. その後の回復が思わしくなく, ベルリンに一緒に行くのをあきらめたネイスミスは7月10日にニューヨークから独りで旅立った (水谷豊 (1980) バスケットボールの歴史に関する一考察 James Naismith とオリンピック・ベルリン大会 〈VI〉 —, 青山学院大学「論集」, (21), p. 156).
- 注7) ネイスミスは国際 YMCA トレーニングスクール入 学前にカナダ・モントリオールのマッギル大学を卒業 している. 入学後, 名門フットボール部から入部を誘 われた. 固辞したが断り切れず, (スポーツ活動では なく牧師めざす勉学を最優先しようという) 入学前の 思いとは裏腹に遂に入部した. 間もなく, めきめきと 上達してチームの要となって大活躍した. Rains, R. (2009) JAMES NAISMITH The Man who invented basketball, Temple University Press, pp. 20 ~26に詳しい.
- 注8) 「ミドルネームは無かったが、後年、頭文字の 'A' が 入れられた」という説もある (http://browsebiography. com/bio-james\_naismith.html: 参照日2018年5月13 日).

また、日本でも 'A' が入った氏名が記されているもの (野口源三郎・今村嘉雄 (1950) 體育大辭典、不味堂書店、p.699) がある. しかし、「使用資料は省く」(『序』、p.1) としているので、出典は不明. 因みに、本所収文献は1954年に改版されたが、'A' は入ったままである. さらに、アメリカでも 'A' が入った氏名の記載例がある. たとえば、Anderson、A. and Albeck、S. (1964) COACHING BETTER

BASKETBALL, The Ronald Press Company に書かれている (p.3).

- 注9)体操については、次のような記述がある。「…秋のフットボールシーズンから翌年の春の雪解けが來るまで室内体育館の行事が行われるのであった。ところがこの学校だけでなく全米一般の傾向として室内体育館の行事(ママ)としてはドイツ式、スエーデン式、フランス式等の柔軟体操や重量挙げ、亞鈴などを号令の下に行なうのには誰もがほとほと参ってしまっていた。これ等の種目を薄暗い体育館で号令の下にやるというだけでも如何にも無味乾燥であり、この長い灰色の期間を呪いたくなっていた(松本幸雄(1949)バスケットボール物語〈一〉競技の生まれるまで、バスケットボール、日本バスケットボール協会、(7)、p.21)
- 注10) 南北戦争後に全米で高まった健康と体育への関心は YMCA の「身体の改善への貢献」という目的と合致した. ここから、「YMCA は青年たちの精神的、知的、社会的、身体的に調和した成長への寄与を目的とする」ことが鮮明になった. やがて、体育活動は YMCA の重要な事業になり、YMCA に体育活動が定着した(Hackensmith, C. W. (1966) History of Physical Education, HARPER & ROW PUBLISHERS, p. 357).
- 注11) このことは「本校の必須の目標は精神的には青年たちをイエス・キリストのもとにいざなうことであり、そして、身体的には青年たちに強壮さを育むことである」と謳っている(School for Christian Workers(1886)An Advance Step in Our Physical Culture, THE WATCHMAN, 12-(24), p. 283).
- 注12) 当時の YMCA には「クリスチャンの神聖な義務と筋肉運動による身心の鍛錬は相いれない」という考え方が根底にあった. ギューリックのコンセプトはこれを払拭する "Muscular Christianity" (筋肉的キリスト教=身体運動を通じた心身の美を尊ぶ)と呼ばれる新しい理念だった (Johnson, L. E. (1979) The History of YMCA PHYSICAL Education, Association Press, p. 56).
- 注13) 採用後の初年度担当科目は物理学と解剖学を含めた「動物のしくみ」であったという(International YMCA Training School (1891) SIX CATALOGUE 1890-91, Springfield Printing and Binding Company, p. 17).
- 注14) http:///sask2016.com/basketball をはじめ http://onthisdayinsports.blogspot.jp/2014/01/January-20-1892-basketballs-first.html などに記されているが、これ以上の具体的な説明がないので、やや信憑性と客観性に欠ける(参照日:2018年5月13日).
- 注15) 1980年12月10日にフロリダ州セントピーターズで 死去している. 墓石には夫 (Leslie Harold Dodd) と ヘレンの名前とともにそれぞれの誕生・死亡年月日が 刻まれている.
- 注16) 地元紙が報道した記事だが、その見出しは「バスケット・フットボール・ゲーム」(Basket Football Game) である。実態がどのようなものであったのかは、おおむね察しがつく。
- 注17) 当時の屋内ゲームについては Bancroft, H. J. (1909) GAMES for the Playground, Home, School and

Gymnasium, The Macmillan Company に詳しい.

## 〈文 献〉

- 1) FIBA (2016) Basketball's first game was 125 years ago today, FIBANEWS.
- 2) YMCA Canada (1991) BASKETBALL, Y triangle, Spring (Quarterly), pp.8~9.
- 3) The New York Times (1939) DR. J. A. NAISMITH IS DEAD IN KANSAS, (29), p. 25.
- 4) Young Men's Christian Association Training School (1887) THE INTERCOLLEGIAN, October, p.8.
- 5) Naismith, J.: 水谷豊訳(1980)バスケットボール その 起源と発展, YMCA 同盟出版部, p. 31.
- 6) Naismith, J.: 水谷豊訳(1980)バスケットボール その 起源と発展, YMCA 同盟出版部, p. 32.
- 7) Naismith, J.: 水谷豊訳(1980)バスケットボール その 起源と発展, YMCA 同盟出版部, p. 34.
- 8) International YMCA Training School (1891) SIX CATALOGUE 1890–91, Springfield Printing and Binding Company, p. 3.
- 9) Naismith, J. (1941) Basketball Its Origin and Development, Association Press, p. 59.
- 10) Naismith, J. (1941) Basketball Its Origin and Development, Association Press, p. 59.
- 11) Webb, L. W. (1973) The Basketball Man James Naismith, University of Kansas, p. 100.
- 12) Springfield Republican (1892年3月12日付).
- 13) Menke, G. F. (1955) The ENCYCLOPEDIA of SPORTS, A. S. Barnes and Company, p. 161.
- 14) International YMCA Training School (1892) Gymnastic Games Basket Ball, PHYSICAL EDUCATION, The Triangle Publishing Co., (1): 2, pp. 21~22.
- 15) International YMCA Training School (1895) GAMES FOR THE YMCA GYMNASIUM, PHYSICAL EDUCATION, The Triangle Publishing Co., (IV): 7, p. 90.
- 16) International YMCA Training School (1895) GAMES FOR THE YMCA GYMNASIUM, PHYSICAL EDUCATION, The Triangle Publishing Co., (IV): 7, p.
- 17) Menke. G. F. (1947) The New Encyclopedia Of Sports, A. S. Barnes & Company, p. 177.
- 18) Menke. G. F. (1947) The New Encyclopedia Of Sports, A. S. Barnes & Company, p. 177.
- 19) Neft, S. N.etal. (1975) The Sports Encyclopedia PRO BASKETBAL, Grosset & Duncap, p. 9.

(2018年5月29日受付) 2018年7月2日受理/